

苦境を機に体質改善 自由な発想と確かな技術で 社会に求められている 新たなものづくりに尽力

新商品の開発で知名度が向上

兵庫ベンダ工業株式会社は1982年の創業以来、トンネルの躯体となるアーチ状の支保工や橋脚の支柱となる補強リングをはじめ、大型建造物に使われる金属の曲げ加工を得意としています。順調に業績を伸ばしてきた同社にとって大きな転機となったのは、2008年のリーマン・ショックでした。売り上げがピーク時に比べて4割減少し、たちまち経営は苦境に転じます。「新しい視点で経営に取り組まねば先細りは避けられない」と危機感を抱いた本丸明子社長は、東京のIT企業で働いていた三男の本丸勝也さんと呼び寄せ、二人三脚で会社の体質改善に取り組んでいくことにしました。

役員の親族に引導を渡す一方で、若い従業員が自由に意見を言いやすい風土を作るべく働きやすい環境、仕組みを整えました。経営状況をガラス張りにして役員報酬まで全て公開するとともに、利益が出た月の翌月には従業員全員に昼食の仕出し弁当を配給。メニューも従業員が自由に選べます。さらに、黒字が出た年には2回の賞与と別に決算賞与を出しました。

併せて、継続的な雇用のためには会社の知名度向上が欠かせないと考

え、話題性の高いものづくりに取り組もうと電気自動車の製造に着手しました。古い車を分解し、電気の勉強を一から開始。現場の従業員が一丸となって完成にこぎ着けました。若手の職人にとって技能を習得する機会にもなり、その後、水素自動車も造り上げました。開発車を展示会に出展すると大きな反響があり、新たな取引や採用につながっていきました。

簡便なデジタルサイネージを開発

電気自動車の製造以来、新規事業推進室を設け、新たな発想でものづくりに挑んできた本丸さんが次に取り組んだのが、可搬型4K/8Kデジタルサイネージの開発でした。もともと大画面で映像を見ることが好きだったこともあり、「大型ディスプレイの精細映像をあらゆる場所で映し出すことができればイベントが開きやすくなり地方創生につながるのではないか」と考えました。音楽イベントやスポーツイベント、シンポジウムでは実況映像

を大型ビジョンで流すことがあります。そのシステム一式を安全に運び簡単に組み立てることが難しく、コストと時間を要していました。この課題を克服すべく開発されたのが可搬型4K/8Kデジタルサイネージです。

開発プロジェクトは大手家電メーカーから4Kパネルを入手するところから始まりました。いったんは断られました。が、ひょうご産業活性化センターの設備貸与制度を活用することで「公的な信用を得て、購入することができました」と本丸さん。1枚の重さが60kgあるパネルを支柱に乗せ、滑車を回して上げながら縦3枚横3枚を組み合わせるまでに要する時間は18分、前後の全ての作業を含めても1時間以内で組み立てられるように考えました。ま



独自開発のパネルケース(左)とポータブル電力供給

た、車で搬送するときに破損しないよう
パネルと狭額ベゼルを覆う枠組みの
部分にも工夫を凝らしています。

神戸マラソンやラグビーワールドカップ

プのパブリックビューイング、野外コン
サートに引っ張りだこで、より精細な8
K版も開発。現在は年間40ものイベン
トから引き合いが来るまでになってい

ます。「考えたことを形にできるものづく
りの技術があることが何よりの強み」
と、これからもユニークな商品の開発
に挑んでいきます。

会社概要
兵庫ベンダ工業株式会社

所在地 姫路市網干区浜田1555-16

代表取締役 本丸明子

事業内容 鉄鋼・非鉄金属の加工成形、土木・機械・電

子回路設計、映像制作、イベント企画・運営

TEL 079-272-0366

URL <http://www.bender.jp/>

支援メニュー講座

設備貸与制度

設備貸与制度の活用で経営基盤を強化

制度概要

設備の増強・更新を図ろうとする中小企業の方に代わってセンターが設備を購入し、中小企業の方に長期（10年以内）かつ固定金利（年率0.90%～2.15%）で割賦販売またはリースするものです。本年度から10%の保証金が原則不要となりました。

メリット

最大のメリットは、金融機関の借り入れ枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できることです。また、設備貸与制度のみならず当センターは、曜日ごとに中小企業診断士等の専門家による無料の窓口相談を随時受け付けています。さらに当センターは中小企業支援機関との連携により県内企業を支援する「中小企業支援ネットひょうご」を活用し、経営・技術・情報などさまざまなサポート体制が構築されていますので、制度利用後のフォローアップを含めた手厚いサポートがあるのも特長です。

設備の更新、新規導入、省エネへの取り組みをご検討されている方はぜひ設備貸与制度の利用をご検討ください。裏表紙でもご案内しています。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター設備投資支援室 TEL 078-230-8801